Sステージボアアップキット　１２４ｃｃ　取扱説明書

ボア径：５３.５mm　ストローク：４４mm（ノーマル）　排気量：１２３.６ｃｃ

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
　使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
　万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号	：０１－０５－００７３
適応車種	：Ｄｉｏ１１０
フレーム番号	：ＪＦ３１－１０００００１～

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆特　徴☆

・ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。ピストン径をφ５０mmからφ５３.５mmにボアアップし排気量を１２４ｃｃに、圧縮比を９.０：１から１１.８：１にアップする事で力強いトルクが感じられます。
・弊社製エキゾーストマフラとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。（但し、マフラー同時装着時は、一般公道では使用出来ません。）

正しく安全にご使用頂く為に

使用燃料についてのご注意

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

Ｆ.Ｉ.コントローラーについての注意

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社製車種専用のＦ.Ｉ.コントローラーを取り付け、燃料増量補正を行って下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎弊社製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎弊社製品は、上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎弊社製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎当製品の性能を発揮するには、ノーマルプーリーの場合、ウエイトローラーのセッティングが必要です。後述する推奨ウエイトローラーを参考にセッティングを行って下さい。なお、当製品にはウエイトローラーは付属していません。
◎必ず慣らし運転を行って下さい。
◎このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
　（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）
・シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

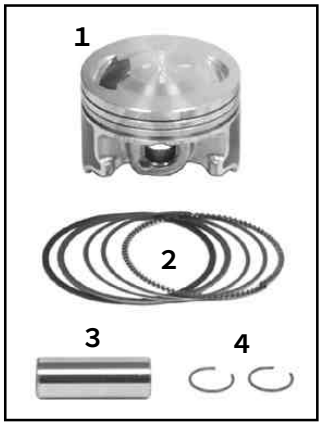
⚠警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

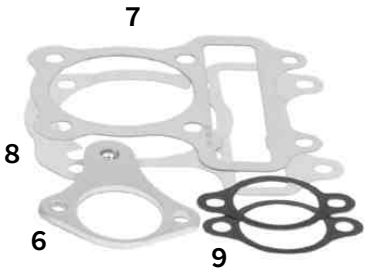
・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

０１－０２－０１６０





番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
１	ピストン　５３.５mm	１	１３１０４－ＫＺＬ－Ｔ００	１
２	ピストンリング　５３.５mm	１	０１－１５－０１６	１
３	ピストンピン　φ１３Ｘ３６	１	００－０１－０００９１（クリップ付）	１
４	ピストンピンサークリップ　φ１３	２	００－０１－０００３	６
５	シリンダー　５３.５mm	１	０１－０１－０１１１	１
６	ステーＣＯＭＰ.	１	１７５７０－ＫＺＬ－Ｔ００	１
７	シリンダーヘッドガスケット	１	０１－１３－０１１７	１
８	シリンダーガスケット	１		１
９	テンショナーガスケット	２		２
１０	カムシャフト	１	０１－０８－００６１	１

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

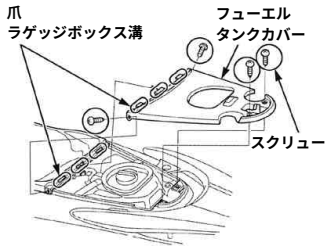
～取　り　付　け　要　領～

※水平な場所でセンタースタンドを立て、車両をしっかりと安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。
※取り外した各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにする。
※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管する。
※ホンダ純正サービスマニュアルではエンジンを車両から取り外した作業を記していますが、この取り付け要領ではエンジン搭載状態での作業を記しています。このためホンダ純正サービスマニュアルとは違った作業（インテークスタッドボルトの脱着等）が含まれます。

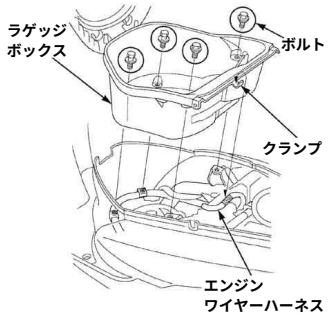
●外装部品の取り外し

ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして外装部品を取り外す。

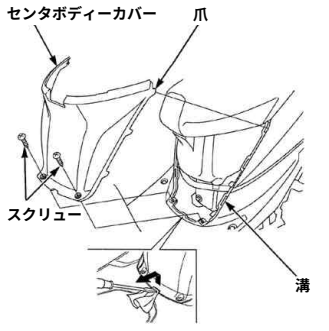
・４本のスクリューを取り外し、フューエルタンクカバーを後ろにスライドさせ、取り外す。



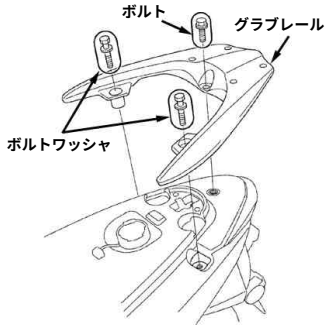
・４本のボルトを取り外し、ラゲッジボックスを取り外す。



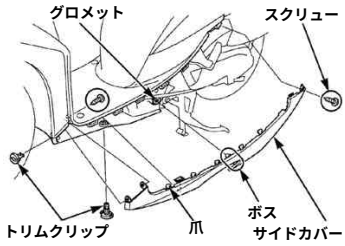
・２本のスクリューを取り外し、先端にウエスを巻いたマイナスドライバー等をセンタボディーカバーの挿込み口に挿し、センタボディーカバー下部を持ち上げてフロアパネルから外す。センタボディーカバーを前方に引っ張り、ボディーカバーから取り外す。



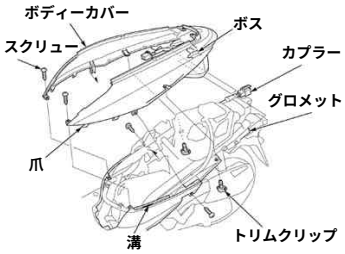
・ボルトワッシャ２本、ボルト１本を取り外し、グラブレールを取り外す。



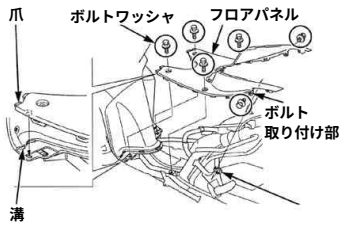
・トリムクリップ２個とスクリュー２本を取り外す。ボスをグロメットから外し、前にスライドし、爪の接続を外してサイドカバーを外す。（左右）



・トリムクリップ２個とスクリュー２本を取り外す。ボスをグロメットから外す。ボディーカバーを後ろにスライドし、爪の接続を外して外す。テールライトの配線のカプラーの接続を外し、ボディーカバーを取り外す。



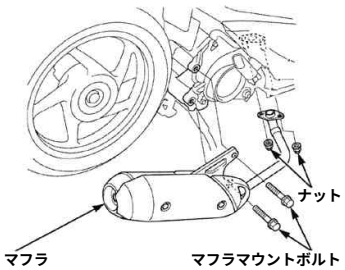
・ボルトワッシャ６本を取り外す。
後部ボルト取り付け部を広げてフレームから外し、フロントインナーカバーの溝から爪の接続を外してフロアパネルを外す。



●（ノーマル）エキゾースト マフラの取り外し

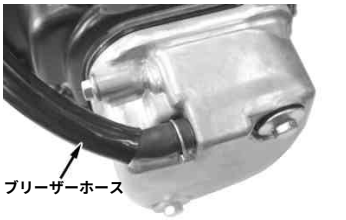
※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。

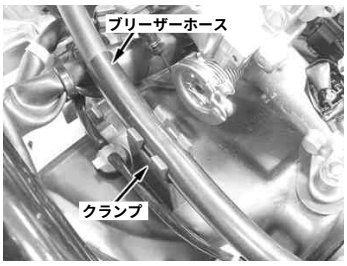
・エキゾーストパイプ部のナット２個、マフラマウントボルト２本を取り外し、エキゾーストマフラを取り外す。



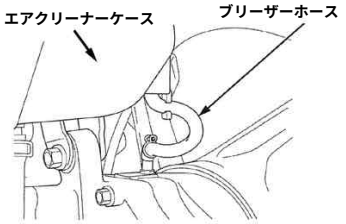
●マニホールド／スロットル ボディーの取り外し

・ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーから取り外し、エアシュラウドのクランプから取り外す。

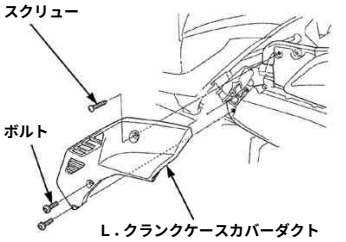




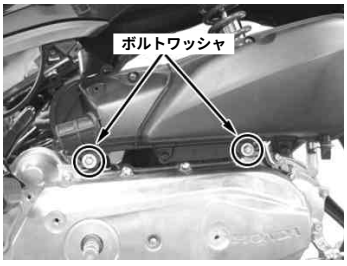
・クランクケースのブリーザーホースをエアクリーナーケースから取り外す。



・ボルト２本、スクリュー１本を取り外し、Ｌ．クランクケースカバーダクトを取り外す。
※無理やり取り外して部品を傷つけないように注意。車体から簡単に取り外すことが出来る。



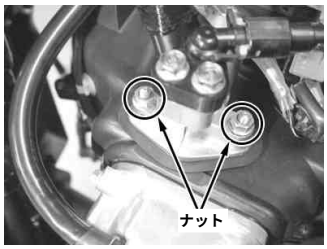
・エアクリーナーケースのボルトワッシャ２本を取り外す。

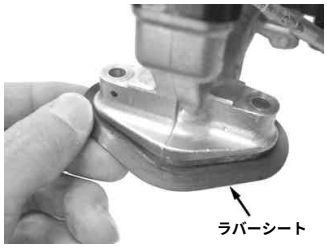


・ボルトを取り外し、フューエルチューブのクランプを取り外す。

・ボルトを取り外し、ケーブルステーをシリンダーから取り外し、スロットルケーブルのクランプを外す。

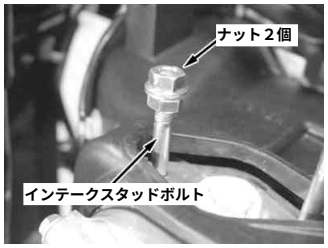
・マニホールドのナット２個を取り外し、シリンダーヘッドのインテークスタッドボルトからマニホールドを抜き取り、マニホールド／スロットルボディー／エアクリーナーケースごとずらしておく。インシュレーターとラバーシートを取り外す。
※フューエルチューブを折り曲げないように注意





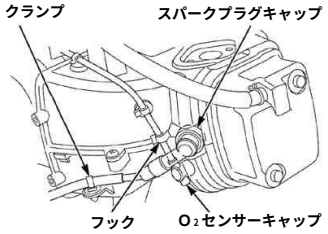
●インテークスタッドボルトの取り外し

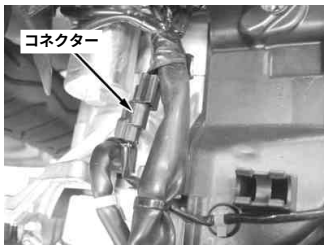
・ナット２個を用意し、ダブルナットの要領でシリンダーヘッドからインテークスタッドボルト２本を取り外す。



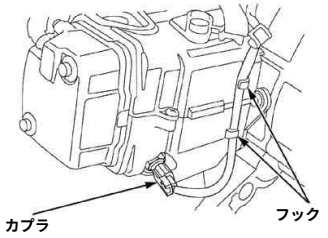
●エアシュラウドの取り外し

・スパークプラグキャップを取り外し、ハイテンションコードのクランプをエアシュラウドから外す。O_2センサーキャップの接続を外し、コードをエアシュラウドのフックから外す。O_2センサーコードのコネクターの接続を外す。

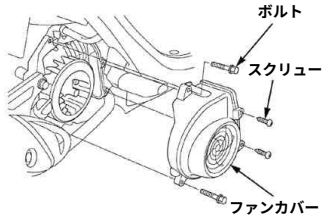




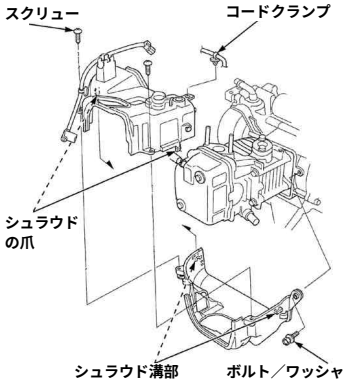
・油温センサーのカプラの接続を外し、コードをエアシュラウドのフックから外す。



・スクリュー２本とボルト２本を取り外し、ファンカバーを取り外す。



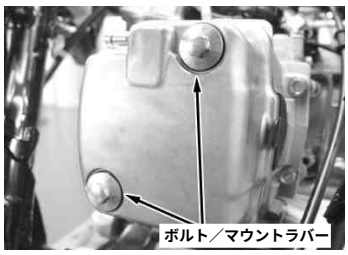
・スクリュー２本とボルト／ワッシャを取り外し、シュラウド左右の爪を外して上下のシュラウドを分割し、油温センサーのコードクランプを取り外す。



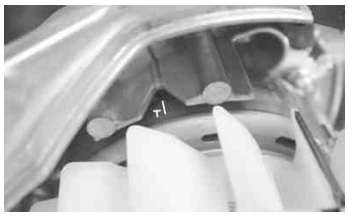
・シリンダーヘッドのシールラバーを取り外す。

●シリンダーヘッド・シリンダー・ピストンの取り外し

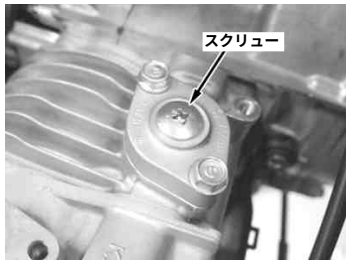
・カバーボルト／マウントラバー２個を取り外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。

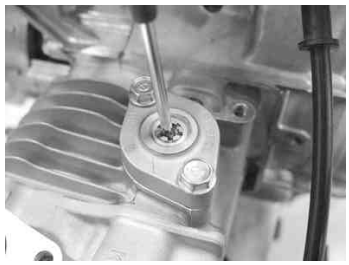


・クーリングファンを時計方向に回し、フライホイールの“Ｔ”マークをクランクケースの合わせマークに合い、且つカムスプロケットの‘○"マークが上（前方）にあるようにする。

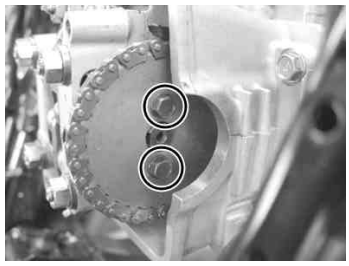


・テンショナーリフターのスクリューを取り外す。リフターを時計方向にいっぱいまで回し、ロックさせる。ボルト２本を取り外し、テンショナーリフターをシリンダーから取り外す。

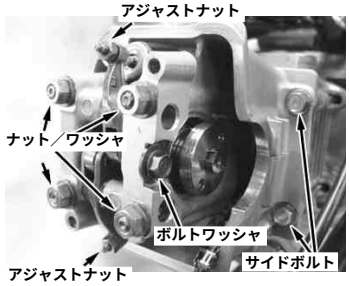




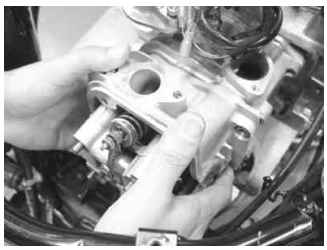
・クーリングファンを保持し、カムスプロケットのボルト２本を取り外す。カムスプロケットをカム、カムチェーンから取り外す。



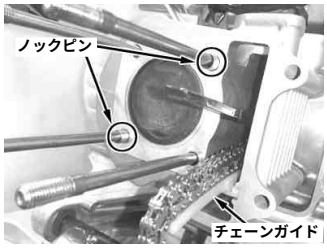
・ロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩める。ボルトワッシャを緩めておく。ヘッドサイドボルト２本を取り外す。ヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ４個と共に取り外す。



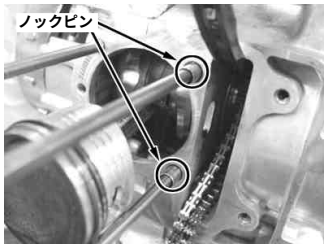
・リアショックのロアマウントボルトを取り外してエンジンの角度を調整し、シリンダーヘッドがフレームと当たらないように取り外す。



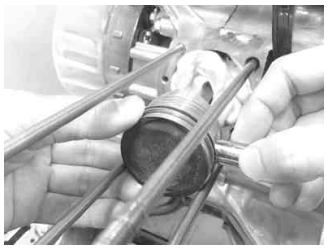
・ノックピン２個やカムチェーンガイドは再使用するので取り外して保管しておく。



・シリンダーを取り外す。ノックピン２個は再使用するので取り外して保管しておく。



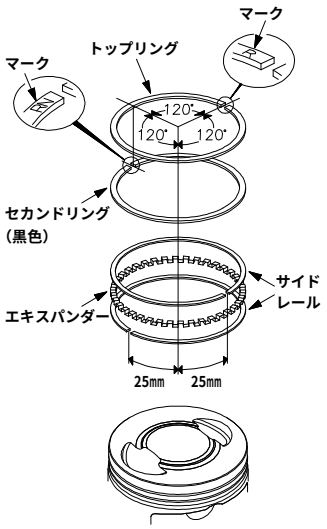
・シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らないようにきれいなウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。
・片側のピストンピンサークリップを取り外してピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

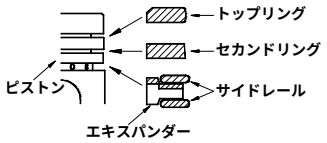


・クランクケースにシリンダーガスケットが残った場合はスクレイパーにてきれいに取り除いておく。

●ピストンの取り付け

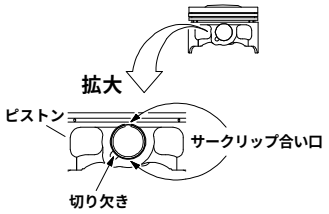
・キットのピストンのリング溝をエアブローし、ピストンリングを取り付ける。
※２ＮＤリング及びＴＯＰリングは文字が入っている面を上にして取り付ける。
※ピストン及びピストンリングを傷つけたり、破損させない事。
※取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
※リングの合口は、図のように１２０度間隔で取り付ける事。





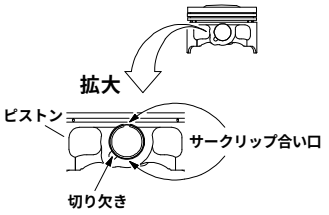
断面にも注意

・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



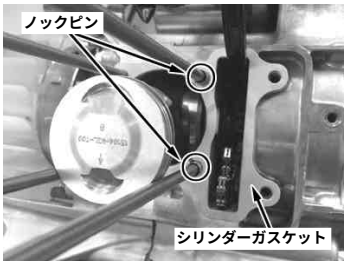
・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“矢印をエキゾースト側に向け、ピストンピンを取り付ける。

・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



●シリンダーの取り付け

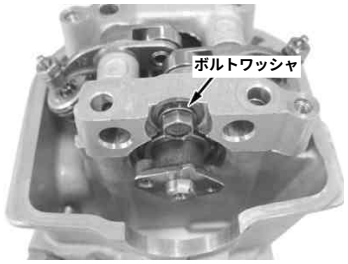
・詰めていたウエスを取り外す。
・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃・脱脂し、クランクケースにノックピン２個とキットの新品のシリンダーガスケットを取り付ける。

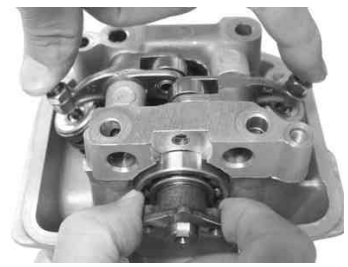


・ピストンリング部にエンジンオイルを少量塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを薄く塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。

●カムシャフトの交換

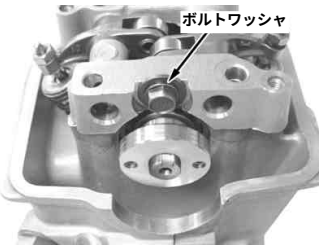
・シリンダーヘッドのボルトワッシャを取り外し、ノーマルカムシャフトを取り外す。
※カムシャフトが外し難い場合はロッカーアームのアジャストスクリューを更に緩め、取り外す。





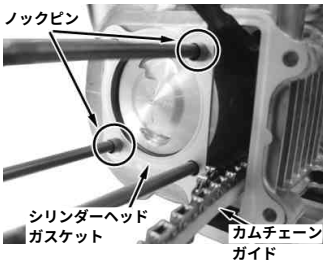
・キットのカムシャフトのカム摺動部、ベアリング、デコンプカム部にエンジンオイルを塗布する。

・カム山を燃焼室に向け、シリンダーヘッドに取り付ける。シリンダーヘッドにボルトワッシャを仮止めする。

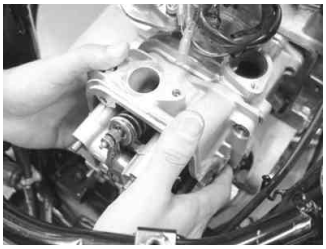


●シリンダーヘッドの取り付け

・シリンダー上面を清掃・脱脂し、ノックピン、カムチェーンガイド、キットのシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。シリンダーヘッドの取り付け面を清掃・脱脂する。

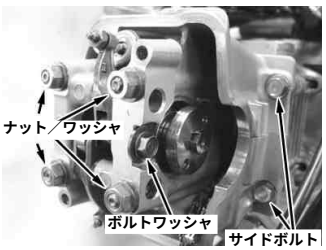


・エンジンの角度を調整し、フレームと当たらないようにシリンダーヘッドをシリンダースタッドボルトに挿し込み、カムチェーンをシリンダーヘッドに通してシリンダーに取り付ける。



・ワッシャ４個､シリンダーヘッドナット４個を取り付け、シリンダーヘッドナットを対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。シリンダーヘッドのサイドボルト２本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
：１８Ｎ・ｍ（１.８ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト
：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



・仮止めしていたボルトワッシャを規定トルクにて締め付ける。

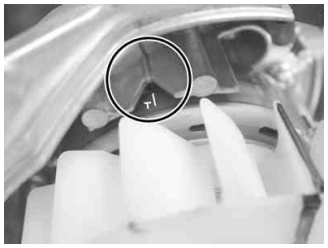
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

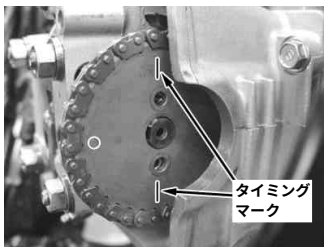
・リアショックのロアマウントボルトを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）

●カムスプロケットの取り付け

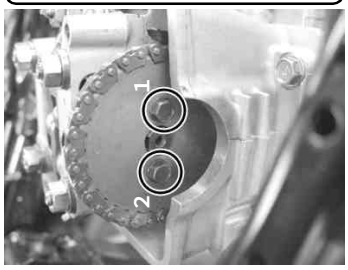
・フライホイールの“Ｔ"マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認し、“○ " マークを前方に向け、タイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合うようにカムスプロケットをカムチェーンに付け、カムシャフトに取り付ける。





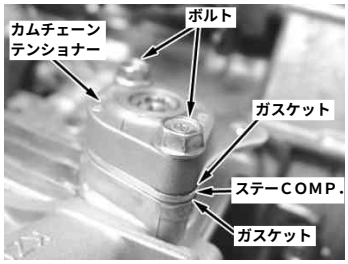
・カムスプロケットのボルト２本を取り付け、カムスプロケットの番号順に規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）



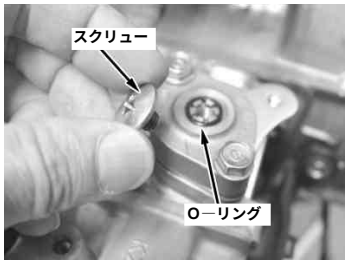
・クーリングファンを２回転時計方向に回し、フライホイールの“Ｔ"マークがクランクケースの合わせマークに合わせたとき、カムスプロケットのタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。
・カムチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。シリンダーにガスケット／ステーＣＯＭＰ.／ガスケット／カムチェーンテンショナーの順に取り付け、２本のボルトを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



・カムチェーンテンショナーのストッパを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。カムチェーンテンショナーの溝にＯ―リングが付いている事を確認し、スクリューをカムチェーンテンショナーに取り付ける。

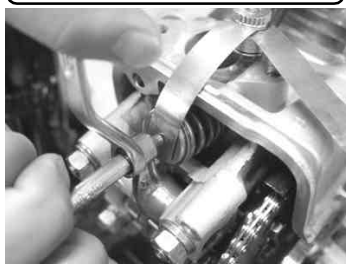
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：４Ｎ・ｍ（０.４ｋｇｆ・ｍ）



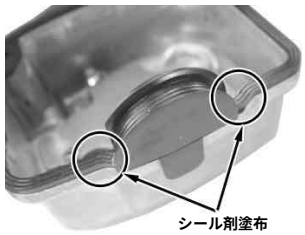
●バルブクリアランスの調整

・フライホイールの“Ｔ"マークがクランクケースの合わせマークに合い、カムスプロケットの“○ " マークが前方に向き､且つタイミングマークがヘッドカバー取り付け面と合っている事を確認する。
・アジャストスクリューとバルブステムの間に０.１６mmのシックネスゲージを挿し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ､アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。
バルブクリアランス
：ＩＮ、ＥＸ共に０.１６mm（冷間時）

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

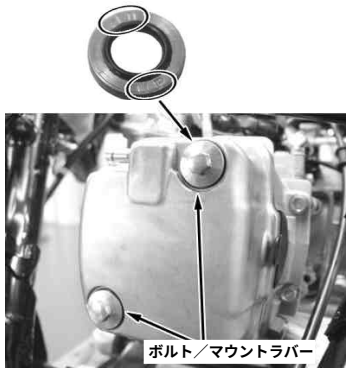


・フライホイールを時計方向に２回転まわし“Ｔ"マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、バルブ隙間が変化していないか確認する。隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。
・シリンダーヘッドカバーにシールラバーを取り付け､シールラバーの画像に記す隅部分にシール剤を塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ
又は相当品



・シリンダーヘッドカバー／シールラバーをカバーボルト／マウントラバー２個にて取り付け、規定トルクにて締め付ける。
※マウントラバーは“ＵＰ" マークを上に向けて取り付ける事。

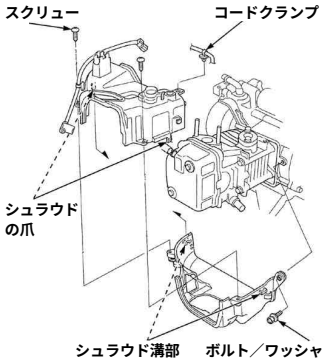
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）



●エアシュラウドの取り付け

・シールラバーをシリンダーヘッドに取り付ける。

・上下のシュラウドをシリンダヘッドのシールラバーに合わせて取り付け、左右の爪をはめ込む。
※ホースや配線を噛み込まない事。

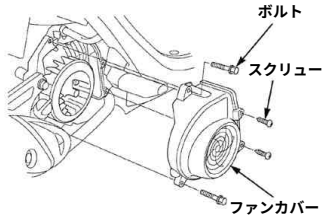


・スクリュー２本で上下のシュラウドを止め､クランクケースにボルトワッシャ１本で取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
：０.８Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）
ボルト／ワッシャ
：７Ｎ・ｍ（０.７ｋｇｆ・ｍ）

・ファンカバーをはめ､シュラウドにスクリュー２本で、クランクケースにボルト２本で取り付ける。

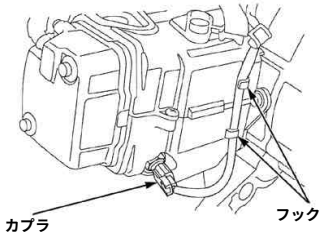
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
：０.８Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）
ボルト
：７Ｎ・ｍ（０.７ｋｇｆ・ｍ）



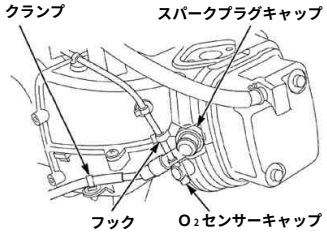
・ケーブルステーをボルトにて取り付け､スロットルケーブルを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

・油温センサーコードのクランプをシュラウドに取り付け、コードをエアシュラウドのフックに取り付け、油温センサーのカプラを接続する。



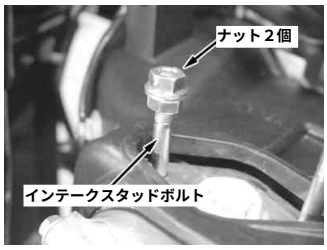
・O_2センサーコードのコネクターを接続し、コードをエアシュラウドのフックに取り付け、O_2センサーキャップを接続する。
ハイテンションコードのクランプをシュラウドに取り付け、スパークプラグキャップを接続する。



●インテークスタッドボルトの取り付け

・スタッドボルト２本をダブルナットの要領でシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

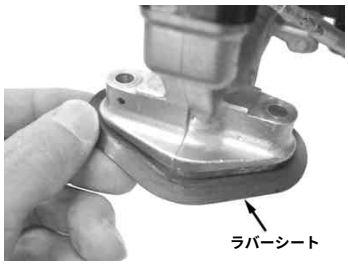


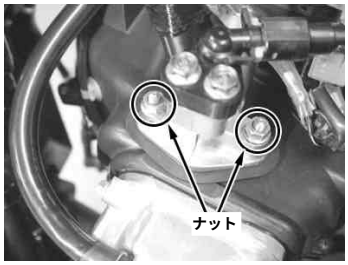
●マニホールドの取り付け

・インシュレーターの裏表の溝にOリングがついている事を確認し、インシュレーターをシリンダーヘッドインテークスタッドボルトに取り付ける。

・ラバーシートを取り付けたインテークマニホールドをシリンダーヘッドに取り付け、ナット２個を規定トルクにて締め付ける。

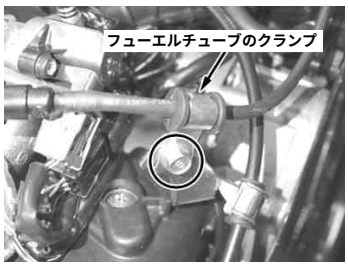
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）





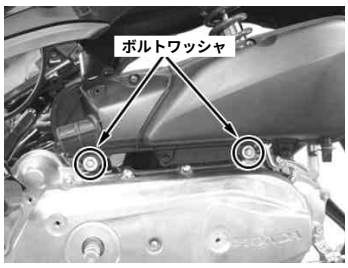
・フューエルチューブのクランプをボルトにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

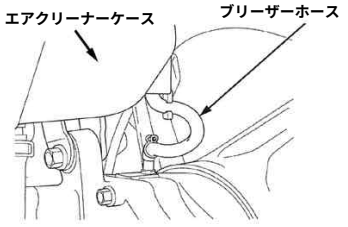


・ボルトワッシャ２本にてエアクリーナーケースを取り付ける。

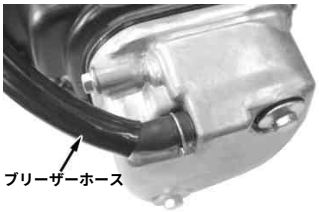
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

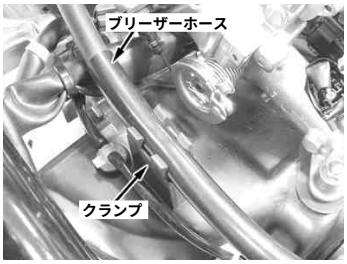


・クランクケースのブリーザーホースをエアクリーナーケースに取り付ける。



・ブリーザーホースをシリンダーヘッドカバーに接続し、シュラウドに取り付ける。



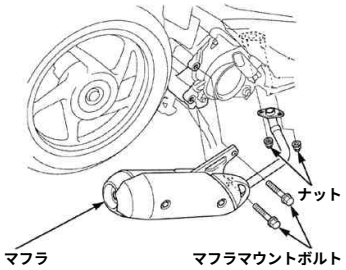


●（ノーマル）エキゾーストマフラの取り付け

※エキゾーストマフラが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラの取り扱い説明書に従う事。

・エキゾーストマフラをセットし、エキゾーストパイプ部のナット２個、マフラマウントボルト２本を仮止めした後、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）
マフラマウントボルト
：５９Ｎ・ｍ（６.０ｋｇｆ・ｍ）

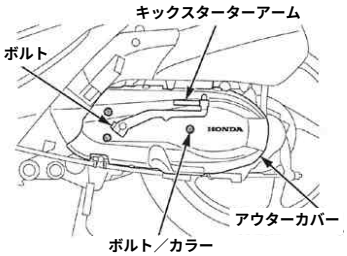


●ウエイトローラーの交換

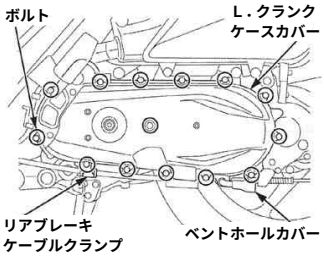
・ウエイトローラーのセッティングにより、Ｓステージの性能を有効に発揮する事が出来ます。
・次ページに推奨ウエイトローラーを記載しておりますのでご参考にして下さい。

※ハイスピードプーリーを取り付けている場合は、その取扱説明書に従う事。

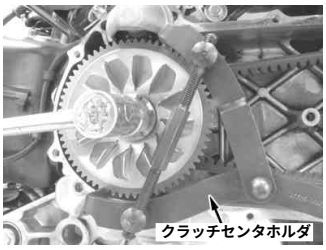
・ボルトを取り外し、キックスターターアームを取り外す。ボルト／カラー３本を取り外し、アウターカバーを取り外す。



・ボルト１３本を取り外し、Ｌ.クランクケースカバーを取り外す。ノックピン２個を取り外しておく。

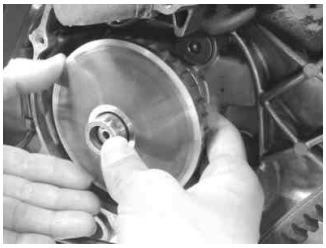


・クラッチセンタホルダにてドライブプーリフェースを固定し、プーリーフェースナットとワッシャを取り外し、ラチェットプレート、ドライブフェイスフィン、ドライブプーリフェースを取り外す。



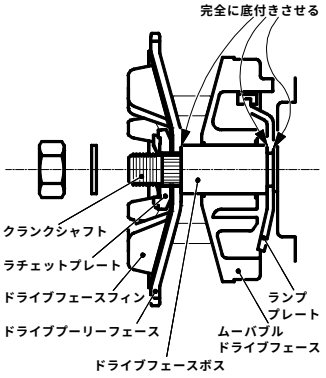
・ランププレートとドライブフェースボスを押さえながら、ムーバブルドライブフェースを取り外す。
・ムーバブルドライブフェースとドライブプーリフェース面をきれいに清掃・脱脂する。
・推奨のウェイトローラーをムーバブルドライブフェースにセットし、ランププレート／スライドピースとドライブフェースボスを取り付ける。

・ウエイトローラーが落下しないようにランププレートを押さえながらドライブフェースボスと共にクランクシャフトに取り付ける。



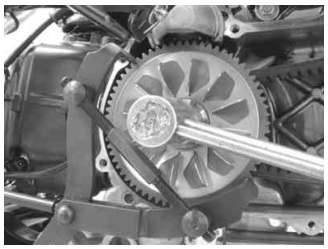
・ドライブベルトをドライブフェースボスに通す。
※ドリブンプーリーを可能なだけ手で広げ、ドライブベルトを出来るだけ引き出しておいてからドライブフェースボスに通す。

・ドライブプーリーフェース、ドライブフェイスフィン、ラチェットプレートをクランクシャフトのスプライン形状に合わせて取り付ける。
※この時、ドライブプーリーフェースをドライブフェースボス側に押し当て、完全に底付きさせる。
※ドライブベルトやフェース面に油脂を付着しないように注意。



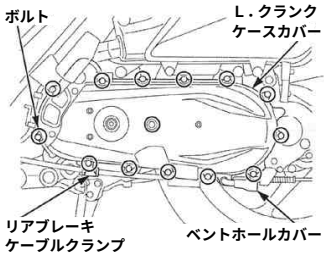
・プーリーフェースナットの座面にエンジンオイルを少量塗布してワッシャと共に取り付け、クラッチセンタホルダにてドライブプーリフェースを固定しながら規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０８Ｎ・ｍ（１１.０ｋｇｆ・ｍ）



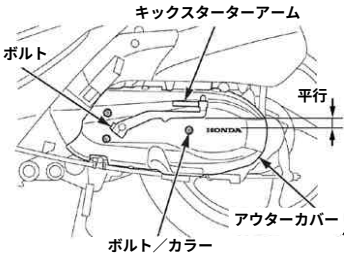
・Ｌ.クランクケースカバーガスケットが破損していないか確認する。ノックピン２個を取り付け、Ｌ.クランクケースカバーを取り付ける。ボルト１３本／リアブレーキケーブルクランプを取り付け、対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



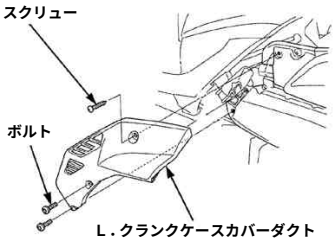
・アウターカバーをボルト／カラー３本にて取り付ける。アウターカバーのＨＯＮＤＡマークと平行になるようにキックスターターアームを差し込み、ボルトを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト／カラー
：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
キックスターターアームボルト
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）



・Ｌ.クランクケースカバーダクトにＯリングとカラーがセットされている事を確認して車体にセットし、ボルト２本、スクリュー１本にて取り付ける。
※無理やりセットして部品を傷つけないように注意。車体に簡単にセットする事が出来る。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
：０.８Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）
ボルト
：７Ｎ・ｍ（０.７ｋｇｆ・ｍ）



●Ｆ.Ｉ.コントローラーの取り付け

・弊社製車種専用のＦ.Ｉ.コントローラーを別途用意し、Ｆ.Ｉ.コントローラー付属の取扱説明書に従い、取り付ける。

●外装部品の取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして取り外した外装部品を逆の手順で取り付ける。

●走行前の注意

・燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。
・各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
・エンジンオイルが規定量入っているか確認する。
・風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。
・エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。
・エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

●Ｓステージでの推奨ウエイトローラー

マフラ	推奨ウエイトローラー
ノーマル	７ｇ×６ｐｃｓ
弊社オーバル	６ｇ×６ｐｃｓ

※上記はノーマルプーリー時の推奨です。
※上記の推奨ウエイトローラーは、全ての状況においてベストセッティングとなるとは限りません。車両の仕様や走行する状況、運転者の体重等でも異なりますので、各自セッティングを行って下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ ０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ http://www.takegawa.co.jp